

はじめに

茨城県衛生研究所年報 55号ができあがりましたのでご案内いたします。

当所は、茨城県の保健衛生分野の技術的中核機関として、調査研究、試験検査、研修指導及び公衆衛生情報の収集・解析・提供を行っております。

地域保健対策のあり方では、サーベイランス機能の強化や迅速な検査体制の確立と検査精度の向上、理化学部門では、食品中に残留する農薬等に関する試験方法の妥当性評価の実施や国のPIC/S（医薬品査察協定及び医薬品査察協同スキーム）加盟に伴う地方の公的認定試験検査機関としての信頼性保証体制の確立等が求められております。このようななか、衛生研究所としての役割を十分に発揮できるよう、常日頃から知識や技術の習得、若手職員の人材育成、検査の体制整備に積極的に励んでいるところです。

平成28年度は、県立試験研究機関が策定する平成32年度までの第2期中期運営計画の初年度として、新たに設定した数値目標等の達成に向けて取り組むとともに、当所の業務内容や研究成果を県民の皆様幅広く知っていただけるような取り組みとして、「感染症情報センター」の活用を初め、研修会、出前講座及び各種イベントでのポスター展示をとおして、積極的な情報発信を行いました。

また、県民の皆様方の「安全・安心」の確保に向けて、試験検査業務はもちろんのこと、調査研究では、さらなる機能強化を図るため、調査研究企画・評価委員会の意見をいただきながら、他機関との連携を図りつつ、地域性を活かした特色ある、細菌・ウイルス部門の4テーマ、理化学部門の1テーマを新たに開始しました。

今後も、質の高い試験検査と地域における健康危機管理の責務を担えるよう、職員一同、努力と研鑽を積んで参ります。

関係者の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご助言をくださいますようお願い申し上げます。

平成29年 12月

茨城県衛生研究所長 池田 良明